



〔山陰海岸国立公園〕
香住海岸（香美町）
（ジオパーク）

基本戦略Ⅱ

自然の恵みを活かした地域づくり

1 里山の再生

近年の人口減少や高齢化、生活様式の変化などによる管理不足で、里山や森林の衰退が懸念されています。本県では、市町と連携した間伐実施による森林管理の徹底や県民参加による森づくりに取り組みます。また、木質バイオマスなど地域資源の利活用を進めます。

主 な 施 策

新ひょうごの森づくりの推進

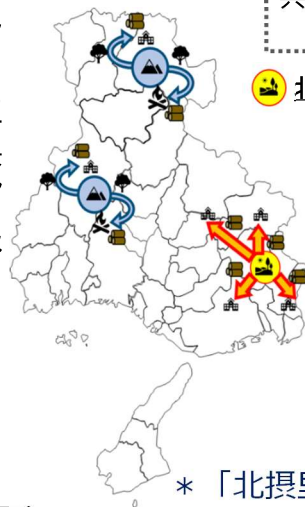
- 地域住民等による森林整備活動を支援する住民参画型里山林再生事業等を活用した里山林の再生や、「森林管理100%作戦」推進事業等により人工林の間伐などを推進します。

里山バイオマス活用コンソーシアムの構築

- 木質バイオマス資源を活用した地域循環共生圏の構築を目指す「北摂里山地域循環共生圏」*の発展及び他地域への展開を目的としてコンソーシアムを立上げ、関係者間の情報共有及び連携を促進します。



木質バイオマスボイラー(神戸市北区)



木質バイオマスの利活用による地域循環共生圏の目指す姿(イメージ)

北摂里山地域循環共生圏
北摂で生産した里山チップを近隣需要家で利用するモデル

地域内資源循環型
地域内に賦存する木質バイオマス(間伐未利用材、剪定枝、危険木、里山保全由来等)を、近隣の加工施設で燃料化し、地域内の施設で利用

*「北摂里山地域循環共生圏」

👉 資料編81頁

Jクレジット(森林クレジット)の取組推進

- 森林所有者が行う間伐などの適正な森林管理によるCO2吸収量をクレジットとして国が認証し売買できる「Jクレジット*制度」の活用に向けて、特に大規模な森林を所有する市町への普及促進を図ります。

*「Jクレジット」👉 資料編82頁

木質バイオマスなど地域資源の循環・利活用

- 主伐・間伐で発生する枝葉等の林地残材を木質バイオマス発電施設の燃料として活用するため、高性能林業機械の導入支援、効率的な集材方法の普及や木材の仕分けやストック機能を備えた土場の整備を推進します。



枝葉等の林地残材のストック・搬出
(宍粟市内バイオマスヤード)

県民総参加による森づくりの推進

- **森林ボランティア活動の促進**
多様な担い手による森づくりを推進するため森林ボランティアや安全指導等を担うリーダーを養成します。

- **企業の森づくりの推進**
企業や団体が社会貢献活動の一環として森林保全活動に取り組む「企業の森づくり」を推進します。

(参画実績:2023年度末累計46社)
(67頁コラム参照)



フルサト・マルカホールディングス株式会社による「ユニソルの森」看板除幕式(宝塚市)

森林保全対策の推進

- ナラ枯れ等から森林を適切に保全するため、兵庫県ナラ枯れ被害対策実施方針に基づき、被害樹木の伐倒や駆除などの対策を進めます。
- 放置竹林の拡大防止に向け、竹をバイオ燃料や新たな商品開発へ適用するなど有効資源として活用する取組を促進します。



コラム

北摂里山博物館構想～地域まるごと博物館～

- 歴史や文化、生物多様性などさまざまな魅力にあふれ、日本一とも称される北摂の里山。地域の行政や住民、研究機関や事業者、環境活動団体などが連携して、**地域の自然を展示物に見立てた「北摂里山博物館」**として発信し、里山の保全と利活用を図り、地域の活性化に取り組んでいます。
- 北摂里山が人と里山の新たな関係をつくり、互いに恵みを与え合う豊かな地域として発展する「**北摂里山モデル**」を創出するために様々な活動を行っています。

《主な取組》

北摂里山大学

実習中心のプログラムにより里山の再生と管理、生物多様性、歴史・文化などを学ぶ市民大学講座

こども北摂里山探検隊

小・中学生が里山への理解や愛着を深めるため、昆虫や植物の観察、炭焼きや木工等の体験学習を実施

北摂里山魅力づくり応援事業

間伐や下草刈り、遊歩道の整備や観察会の開催など、里山の保全・再生に取り組む団体の活動を支援

北摂里山サポーターズクラブ

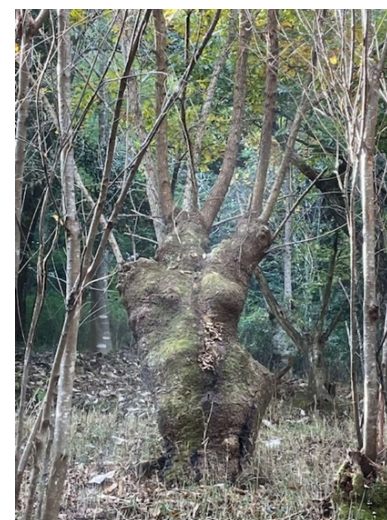
北摂里山に関心を持つ個人・団体・企業をネットワーク化し、情報提供やイベント開催、活動紹介等を実施



コラム

受け継がれる伝統～台場クヌギと菊炭～

- 川西市最北部に位置する黒川地区の里山には「**台場クヌギ**」と呼ばれる良質なクヌギが群生し、**室町時代頃から炭焼きが行われるようになり**ました。
- 「**台場クヌギ**」は、炭焼きの材料とするため、およそ10年ごとに、地上から1～2メートルのところで伸びた枝を伐採することを繰り返すため、土台の幹がずんぐりと太くなった、**独特の形状**をしています。
- 特に黒川地区の炭は、焼き上がった炭の断面の模様が、菊の花びらに似ていることから「**菊炭**」と呼ばれ、**茶席の高級炭**としても珍重されています。
- 昭和30年代以降は、電気やガスが普及し、また、山間部の宅地開発などに伴い、原材料も入手しにくくなり、最盛期には約40軒あった炭焼き農家のうち、今では**1軒の農家**が伝統技術を守り続けています。
- 地元では菊炭の伝統を守るため、将来の原木の確保をめざして苗木を植樹するほか、シカ除けのネットを張るなど、地元をあげて**台場クヌギの保全活動**に取り組んでいます。



台場クヌギ



菊炭

2 里海の再生

第41回全国豊かな海づくり大会を契機に2023年に設立された「ひょうご豊かな海づくり県民会議」などを中心に、豊かで美しい海づくりをめざして県民総参加の運動を展開するとともに、瀬戸内海沿岸の府県市や（公財）国際エメックスセンターなどと連携し、藻場や干潟の再生による生物生息環境の保全・回復、ブルーカーボン生態系の創出、海ごみ対策、栄養塩類の管理を進めます。

主 な 施 策

ひょうご豊かな海づくり県民会議による取組推進

- 多様な主体相互の豊かな海づくり活動のネットワーク化・相互連携に取り組み、情報共有・情報発信やイベント開催などを通じて県民意識の機運醸成を図ります。

ひょうごの海におけるブルーカーボンの推進

- ブルーカーボン*生態系（海藻や海草等が繁茂する藻場、海苔養殖）によるCO₂吸収・固定量を定量化するとともに、CO₂削減を図る企業・団体等とのクレジット取引を行うブルーカーボンクレジット*の創出を検討します。

*「ブルーカーボン」「ブルーカーボンクレジット」👉 資料編82頁

- 大阪府とともに、大阪湾沿岸をブルーカーボン生態系（藻場・干潟）の回廊（コリドー）でつなぐ「大阪湾MOBAリンク構想」の実現をめざし、大阪湾ブルーカーボン生態系アライアンス（MOBA）を設立して取組を進めます。



藻場・干潟の創出が必要
藻場等の保全・再生の加速化

《大阪湾MOBAリンク構想》

様々な関係機関・団体等が主体的かつ連携して以下の取組を推進

- ① 取組状況の情報発信・普及啓発・理解促進を一元的に展開
- ② ブルーカーボン生態系の創出等の取組活性化
- ③ 会員同士の連携による新たな創出等の検討・支援
- ④ 藻場創出等が生物多様性等へ及ぼす効果把握 など

藻場・干潟の保全・再生・創出

- 豊かで美しい「里海」の実現に向けて、地域団体や民間事業者等による藻場・干潟等の保全・再生・創出に向けた取組を支援します。
- 海底耕うんやため池のかいぼり等を通じて海への栄養塩類の供給を進めるとともに、適正な資源管理の推進や漁場の整備等を通じて豊かな海への再生を進めます。

海ごみ対策の推進

- 海洋ごみによる汚染状況や発生源の把握、組成調査等の実態調査を行います。
- 海浜清掃への支援、ごみ拾いSNS「ピリカ」や「ごみマップ」の登録、「クリーンアップひょうごキャンペーン」の推進などにより、環境美化に取り組みます。



南あわじ市立西淡中学校のボランティア清掃

栄養塩類の適正管理

- 「兵庫県栄養塩類管理計画（2022年策定）」に基づき、生物の多様性・生産性の確保に必要な栄養塩類*（全窒素・全りん）の供給を計画的に実施します。
- 工場・下水処理場からの栄養塩類供給を促進するとともに新たな供給方策などの調査研究に取り組みます。

*「栄養塩類」👉 資料編82頁



コラム

ため池の「かいぼり」と里海づくり

- 東播磨や淡路地域では、ため池の「かいぼり」(池干し)や一斉放流を通じて、里と海(農業者と漁業者)の連携と協働による地域づくりを推進しています。
- 古来から、地域では、農作業が終わる冬季にため池から水を抜き、池を干して、底の泥を取り除いたり池の修繕を行うとともに、泥は肥料として活用、かいぼりで捕まえたコイやウナギは冬のたんぱく源として利用してきました。
- かいぼりにより、池の底に溜まった窒素・リンなどの豊富な栄養分を多く含む腐葉土を海へ放流することで、ノリの色落ち対策や豊かな里海づくりに取り組んでいます。
- 例えば、明石市内では「豊かな海再生プロジェクト」として、かいぼりを推進、明石市内のため池約100か所の中の約30か所で日を決めて、ため池の水を流す「一斉放流」等も実施しています。



かいぼりの実施(明石市)



近隣小学校の生徒によるかいぼり体験(高砂市)



コラム

兵庫運河の自然を再生するプロジェクト

- 兵庫運河は、神戸市兵庫区にある5つの運河の総称です。運河は明治時代につくられ、その周辺はその後一大商工業地域へと発展しましたが、一方で運河の水質汚濁が進行したほか、生物の生息環境の急速な悪化を引き起こしました。
- このため、兵庫運河で環境保護などの活動に取り組む兵庫漁業協同組合やNPO、小学校、行政、企業など多くの主体が連携して2013年から「兵庫運河の自然を再生するプロジェクト」を展開しています。
- 当該プロジェクトでは、豊かな里海を未来に残していくために、アサリの放流やアマモなど海藻類が生える藻場の整備、アマモ場のモニタリング調査、環境学習などに取り組み、成果をあげています。

《活動の成果》

- * 2015年当時、漁協が移植した数株程度のアマモが7年後には約0.5haにまで分布を拡大
- * 育成した藻場のCO2吸収量が「ブルークレジット®認証(注)」
- * アサリが高密度で生息
- * 生き物観察会では多くの水生生物を確認



兵庫運河の生物調査



アマモのモニタリング調査

(注) 国の認可法人「ジャパンエコノミー技術研究組合(JBE)」においてブルーカーボンを定量化して取引可能なクレジットとして認証・発行・管理を実施する取組

1 災害に強い森づくり

2004年に本県を襲った一連の台風は、洪水や山崩れ、風倒木等の甚大な被害をもたらし、私たちに森林をはじめとする「緑」を整備することの必要性を改めて強く認識させられました。本県では、豊かな「緑」を次の世代に引き継ぐため、その保全・再生を社会全体で支え、県民総参加で取り組む仕組みとして2006年度から導入した「県民緑税」を活用したグリーンインフラ*により「災害に強い森づくり」を進めます。

*「グリーンインフラ」👉 資料編82頁

- 県民緑税**
- 課税方式 個人:年額800円、法人:均等割額の10%相当（年額2,000円～80,000円）
 - 税収規模 5年間で約120億円（うち、災害に強い森づくりに約88億円を活用）



主 な 施 策

緊急防災林の整備

- 急斜面の下層植生が衰退した人工林で、伐採木を使用した土留工の設置により下層植生を回復させ表土の流出防止を図ります。また、流木・土石流が発生する恐れのある危険渓流で、災害緩衝林整備や簡易流木止め施設の設置を行います。

都市山防災林の整備

- 六甲山系において、人命や下流の住家等に被害を及ぼす危険性が高い流域の森林を対象に防災機能を強化するための森林整備や土留工の設置を進めます。

里山防災林の整備

- 人家裏山で倒木や崩壊の危険性が高い里山林において森林整備、危険木の伐採、簡易防災施設の設置等を行います。

住民参画型の森林整備

- 地域住民等による集落裏山の防災林や希少種保全、バッファゾーン整備など自発的な活動への支援を行います。

針葉樹林と広葉樹林の混交整備

- 気象災害や土砂災害の恐れの高い、手入れ不足の高齢人工林を伐採し、跡地に広葉樹等を植栽することで多様な森林への誘導を図ります。

野生動物共生林の整備

- 野生動物による農作物等被害の軽減を図るため、バッファゾーン整備や広葉樹植栽、植生保護柵を設置します。



伐採木を使用した土留工
(養父市)



植栽した広葉樹が順調に成長
(穴栗市)



地域住民による竹林整備
(市川町)

2 人と自然が共生するため池・川づくり

ため池や河川は多様で豊かな生態系を育むほか、洪水時や非常時において地域住民の暮らしを守る防災面での機能も有しています。ため池や河川が有する防災・減災などの多面的機能が十分発揮できるよう取組を進めます。また、整備や改修にあたっては、生物多様性の保全への配慮や景観との調和を図りながら対策に取り組みます。

主 な 施 策

ため池の治水活用による減災対策の推進

● ため池の防災機能の向上

洪水などによる浸水被害の軽減を図るため、台風の時期などに、ため池の水をあらかじめ放流して水位を下げ、雨水を一時的に貯留して、河川や下流水路への流出を遅らせ、河川等の急激な増水の抑止や浸水被害を軽減する仕組みをため池管理者等と連携して推進します。

● 兵庫ため池サポートセンターの設置

ため池管理の無料相談窓口の開設や専門技術者による巡回点検、管理者への適正管理や補修に関する助言・指導等を行い、ため池管理者による適正な管理活動を支援します。

● ため池管理者講習会の実施

ため池が持つ多面的機能の1つである洪水調整機能を用いた治水活用を推進するため、適正な管理に必要な知識や手法等の習得を目的とした管理者講習会を実施します。



兵庫ため池サポートセンター
による点検



ため池管理者講習会
(上郡町尾花池)

ひょうご・人と自然の川づくり

- 兵庫県では、1996年に策定した「“ひょうご・人と自然の川づくり”基本理念・基本方針」に基づき、「治水・利水」「生態系」「水文化・景観」「親水」の四つを柱として、人と自然が共生する川づくりに取り組んでいます。具体的な取組を「ひょうご・人と自然の川づくり事例集」として冊子にとりまとめ、生物多様性への配慮を実践するための資料とする他、取組への理解を深めてもらうため、県ホームページなどで広く周知を行っています。

施工前



施工後



全断面式魚道（粗石付き斜路）の設置
(二)住吉川水系住吉川（神戸市東灘区）

本県におけるため池や河川、森林などでのこうした取組は、生態系が有する防災・減災機能を積極的に活用して災害リスクを低減させる「Eco-DRR(エコ・ディー・アール・アール)*」という近年注目されている考え方にも通じるものです。



コラム

円山川水系の治水対策と自然再生

- 円山川流域内の豊岡盆地は、河床勾配が極めて緩いため、洪水が流れにくく、大雨による内水被害が発生しやすい地形特性であることから、これまで多くの洪水に見舞われてきました。特に、**2004年、観測史上最高水位を記録した台風23号では円山川が決壊するなど、大きな被害を被りました。**
- このため、県では、国土交通省と連携して治水対策や自然再生再生に取り組んできましたが、その推進にあたっては、治水上の機能に配慮しつつ、同時にコウノトリやオオサンショウウオをはじめとする円山川水系の豊かな自然環境の保全・再生を進めてきたことが特徴です。
- これらの治水対策と自然再生の両立をめざす取組は、良好なモデル事業となって、全国の様々な河川で適用されています。

河道内での湿地環境を再生・創出する取組

- 治水安全度の確保と環境保全を両立するために、高水敷(常に水が流れる低水路より一段高い部分)を、コウノトリが餌をとるのに適した高さで掘削し、傾斜を緩やかにするなどして、多様な生物が生息・生育できるよう湿地環境を再生

【湿地再生の状況】



高水敷を切り下げて、治水と環境が両立するようにコウノトリの生息環境を創出（円山川水系豊岡市）

水生生物の生息場創出と連続性確保の取組

- 河川改に自然石等を河岸に設置することで、水生生物の隠れ場所や生息場、餌場を創出しつつ流路を安定化
- 河川と水路、田んぼを魚道で繋げることで、ドジョウやコイ科の魚類などが移動できるよう連続性を確保



生息環境の創出
(円山川水系出石川)



河川と水路の連続性確保
(円山川水系豊岡市)

耕作放棄水田を用いた治水対策と体験型環境学習

- 耕作放棄水田を活用し、規模の大きな洪水を越水させて貯留し、水生生物のための湿地環境を創出



堰堤から越水させて
洪水を緩和



耕作放棄水田にて湿地
環境を創出

3 都市緑化の推進

都市公園は、美しい都市景観の形成や県民の健康・レクリエーション空間の確保のほか、防災機能の向上など多様な機能を担っています。地域住民などによる緑化活動を支援するとともに、まちなか緑化や都市公園の整備などのグリーンインフラにより、都市の緑を増やし、ヒートアイランド現象の緩和や都市の低炭素化を進めます。

主 な 施 策

県立都市公園の整備及び利活用

- 本県の県立都市公園*は、15公園1,136.6haと全国3位の規模を有しています(2024年度末現在)。環境保全機能の充実に向けて、地域の水と緑のネットワーク形成の拠点のひとつとして保全・創出することで、生物多様性の確保やヒートアイランド現象の緩和などに資する公園づくりを進めます。

*「都市公園」 📄 資料編83頁

【取組事例】

地域の豊かな自然を最大限活かした公園づくり：有馬富士公園

有馬富士や福島大地などの自然を活かした県内最大級の広域都市公園。多様な動植物を身近に観察ができ、住民グループによる棚田管理、里山管理を実施。園内には「三田市有馬富士自然学習センター(キッピー山のラボ)」を併設し、人と自然の博物館と連携した環境学習プログラムを展開。



自然観察会

参画と協働による生物多様性の保全：一庫公園

「生物多様性ひとくらパーク戦略(2011年)」に基づき、クヌギ群落の低林管理や野生動物への対策、希少種の保全等、公園の活動団体及び利用者の参画と協働による豊かな自然環境の保全と里山文化の継承を推進。



公園内のクヌギを使用した炭焼き体験

ひょうご花緑創造プランの推進

- 基本方針のもとに「花緑の「育み」、「恵み」による「ゆたかな暮らし」の実現」を目指します。

- ① 参画と協働による花緑活動の一層の推進
- ② 広域・生活に身近な地域における緑地の創出・保全
- ③ 自然再生・生物多様性の確保に関する取組の拡大
- ④ 花緑の効果的な活用 ⑤花緑による安全・安心の向上

※「ひょうご花緑創造プラン」は2025年度末(2026. 3)に改訂予定

● 県民まちなみ緑化事業

県民緑税を活用し、住民団体などが実施する植樹や芝生化、建築物の緑化活動に対して支援し、都市における環境の改善や防災性の向上を図ります。特に、子どもの成長に寄与する校庭の芝生化や、緑の効果を実感できるまちの中心部でのシンボル性の高い緑化の推進に取り組みます。



校庭の芝生化
(岩岡こども園)

条例に基づく建築物及びその敷地の緑化の推進

- 環境の保全と創造に関する条例に基づき、市街化区域内で一定規模以上の建築物を新築等する際、建築物及びその敷地の緑化を義務づけ、ヒートアイランド現象*の緩和などを進めます。

*「ヒートアイランド現象」 📄 資料編83頁

1 環境創造型農業の推進

有機農業の取組拡大や化学肥料・化学合成農薬を減らす取組などの「環境創造型農業」を推進し、SDGsの推進や地球温暖化対策への貢献などを踏まえた施策展開を図ります。また、有機農業に取り組む担い手の確保・育成を進めます。

主 な 施 策

有機農業を含む環境創造型農業の推進

● 有機農業を含む環境創造型農業のさらなる展開

有機農産物等の流通・販売対策として、CSA手法の活用による販路拡大や、有機等酒米を使用した県産日本酒の商品化への支援に取り組むとともに、新たな方向性として、環境創造型農業への「脱炭素」の定義を追加し、温室効果ガス削減の貢献度の「見える化」を検討するなど、農業分野での環境負荷低減への寄与に向けて検討します。

● 肥料等の利用低減体系の構築の推進

地域に適した環境創造型農業技術(土づくり技術、化学合成農薬低減技術等)の体系を確立し、栽培歴等に反映して普及を図るJA等を支援します。

● 有機農業への県民の理解醸成対策

有機農業に対する県民の理解醸成を図るため、学校給食での県産有機食材の利用を推進するとともに、消費者を対象とした栽培講座を実施する団体等を支援します。



県立農業大学校での実地研修



但馬地域における「コウノトリ育む農法」

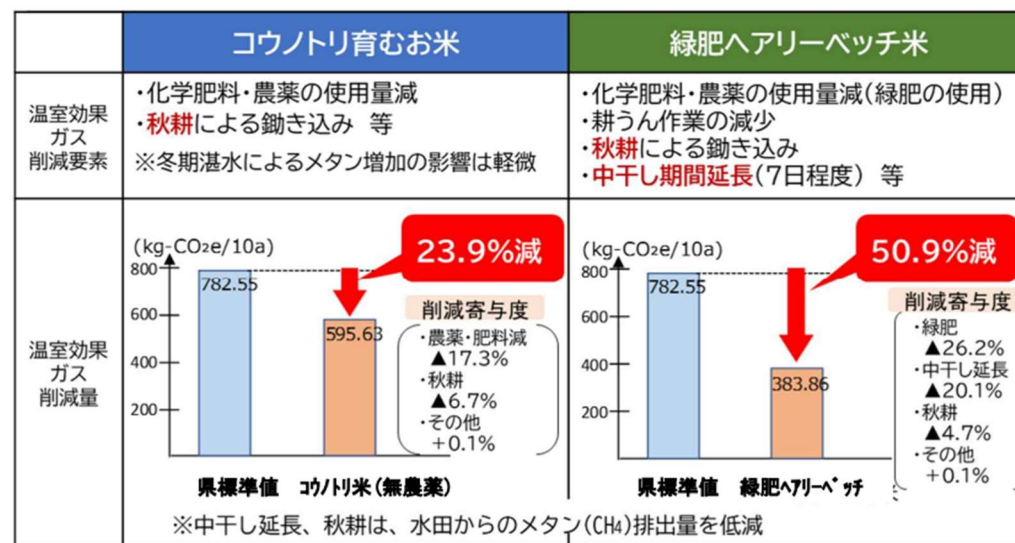
有機農業の担い手育成

● 有機農業アカデミー（仮称）の設置（2026年4月開校予定）

県立農業大学校に「経営として成り立つ有機農業」を体系的に学ぶ有機農業専門コース(1年制、定員10名程度)を設置し、有機農業の担い手育成を強化します。併せて、卒業後のスムーズな就農に繋がるよう、県下各地の有機農業者や流通・小売事業者と連携したカリキュラムを構築します。

● 有機農業のモデル経営体の育成

一定規模以上の慣行農業の経営体を対象に、有機農業への転換を支援します。



温室効果ガス排出量比較(2023年実施)

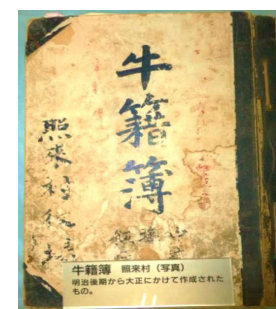


コラム 「人と牛が共生する美方地域の伝統的但馬牛飼育システム」（世界・日本農業遺産認定）

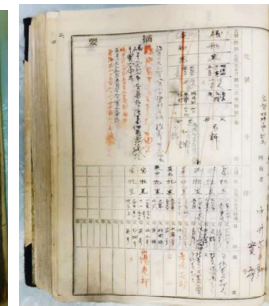
- 美方地域は棚田での稲作と但馬牛の子牛生産が盛んであり、この地域で生まれ育った子牛は、県内各地に出荷され「神戸ビーフ」の素牛となります。
- 但馬牛は400年以上前から地域の豊富な草を与え、山野に放牧し、家族同様に大切にされてきました。現在でも牛1頭1頭が大切に飼育されており、稲わらや畦草を与え、牛ふん堆肥を稲作に利用することにより、資源の循環を図っています。また、放牧により、草原が維持され、地域の多様な生態系の保全に貢献しています。
- 但馬牛の改良に熱心だった美方地域では、1898年に全国に先駆けて、牛の血統を登録する「牛籍簿」が整備され、これが和牛の血統登録の基礎となり、全国の和牛改良の先頭に立つ地域となりました。美方地域では全国の黒毛和種でも唯一、地域内産にこだわった改良を続けてきた結果、世界でもここにしかない独自の血統が保全され、日本の黒毛和種の貴重な遺伝資源として大きな役割を果たしています。こうした長年の取組が高く評価され、2023年、国連食糧農業機関(FAO)によって本県初の世界農業遺産に認定されました。



但馬牛



牛籍簿



コラム 丹波篠山の黒大豆栽培～ムラが支える優良種子と家族経営～（日本農業遺産認定）

- 300年以上前から丹波篠山地域で栽培される黒大豆には多様な在来種が存在し、複数の系統から農家らによる種子の交換や選抜育種を代々繰り返して、世界最大級の黒大豆「丹波黒」が生み出され、日本の主要産地として発展してきました。
- 用水不足のため稲作をしない犠牲田を集落で協力し合いながら設け、そこで黒大豆栽培が始まりました。また、山の木々や落ち葉、わらなどから土壌改良や肥料などに用いる灰を製造するための灰小屋が設けられ、今なお残されています。
- 用水確保のために維持管理されているため池では、セトウチサンショウウオ、モリアオガエルなどの両生類、ゲンゴロウなどの水生昆虫といった絶滅危惧種が守られています。
- 丹波篠山地域では、ムラを基本にした協働の風土によって黒大豆栽培を成立させ、「丹波黒」発祥の地として遺伝的多様性を維持し、水が不足しがちな盆地でも持続的な農業が安定的に維持されていることで、貴重な水生生物にも生息場を提供していることなどが評価され、2021年、日本農業遺産に認定されました。



黒大豆



黒大豆畑



灰肥料をつくる灰小屋

２ 資源循環型林業の構築

生物多様性に配慮した適正な森林管理と木材の利活用をともに進めることで、豊かな森づくりにつなげていきます。また、建築用材やバイオマス発電燃料など必要な需要量を持続的に供給していくため、成熟化の進む人工林資源を計画的に伐採・利用し、再び植林・保育・伐採・利用と、林業生産サイクルが円滑に循環する資源循環型林業の構築を進めます。

主 な 施 策

県産木材の利用拡大

● 県産木材の利用拡大

県産木材を見える場所に使う建築物への補助等により、住宅、公共施設及び民間建築物の木造・木質化を推進して脱炭素社会の実現に資するほか、県産木材の需要拡大・安定供給体制の確立によって、伐って、使って、植えて、育てる資源循環型林業の構築をめざします。

● 県産木材の安定供給体制の強化

林内路網の基盤や高性能林業機械の導入等を支援するとともに、主伐・間伐で発生する枝葉等の林地残材を木質バイオマス発電施設の燃料として活用するため、効率的な集材方法の普及や木材の仕分けやストック機能を備えた土場の整備を推進します。



公共施設等の木造・木質化
(県立総合射撃場管理棟)



枝葉等の林地残材のストック・搬出
(宍粟市内バイオマスヤード)

林業就業者の確保・育成

● 県立森林大学校による人材養成

森林林業に関する専門知識はもとより、生態系保全の基礎知識等を学ぶ県立森林大学校において、次代の林業を担う人材の養成を行います。

● 森林施業プランナー等の育成

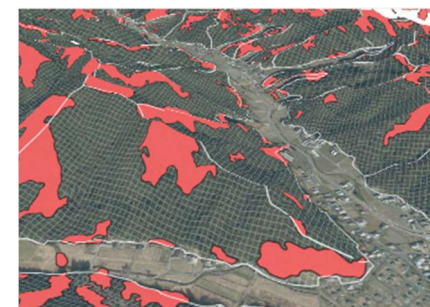
収益性の高い低コスト林業経営モデルの確立に向け、林業事業体における森林施業プランナーや現場技能者の資質向上を図ります。

● 生産性の向上

県立森林大学校や林業労働力確保支援センター等と連携し、高性能林業機械を活用した作業の習熟度を高めるための研修を実施します。また、ドローン等のICT技術の導入を促進するとともに、これらの技術を有効活用できる人材の育成を促進します。

人工林のゾーニングによる計画的な森林整備の推進

- 航空レーザー測量から得られた樹種、樹高、本数等の森林資源情報データを活用し、林業経営に適した人工林等のゾーニング(分類)により、地域の実態に応じた主伐、間伐等の整備を推進します。



森林資源情報を活用したゾーニング

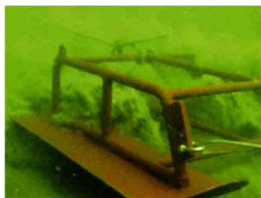
3 持続的な水産業の実現

海底耕うんやため池のかいぼり等を通じて、海への栄養塩類の供給を進めるとともに、適正な資源管理の推進や漁場の整備等を通じて豊かな海への再生を進めます。また、豊かな海を支える担い手の確保・育成にも努めます。

主 な 施 策

漁業者による豊かな海づくりの取組の推進

- 海底耕うん※や藻場等を保全・回復する取組のほか、農業者や消費者と協働して行うため池のかいぼりや森づくり、海浜清掃などの活動を支援します。また、漁業体験などを通じ、「豊かな海」に対する県民への理解醸成と普及啓発を進めます。（「かいぼり」の取組については47頁を参照）



海底耕うん



漁業者と消費者による海浜清掃

※ 漁船で専用の桁（けた）をひき、魚介類が生息しやすい環境を作るとともに、海底の栄養を海中に放出させる取組

水産資源管理の推進

- 栄養塩類の供給とともに水産資源の適正な管理を進め、持続可能な水産業の実現を図ります。

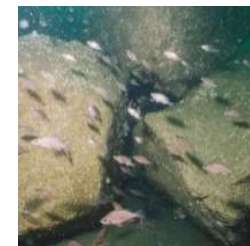
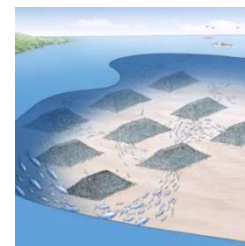
《漁業者の取組事例：イカナゴ》

くぎ煮などに利用されるイカナゴは、県水産技術センターの調査データに基づき漁業者が協議し、解禁日（適正漁獲サイズ）と終漁日（過剰漁獲の抑制）の統一や操業時間の短縮等に取り組んでいます。

しかしながら、貧栄養化の進行によるエサ不足などにより、2017年以降、資源が極端に悪化しました。このため2024年漁期は、大阪湾では自主禁漁、播磨灘では1日で終漁するなど、イカナゴ資源の回復に向けて、豊かな海づくりの取組とともに厳しい自主規制が続いています。

漁場整備を通じた産卵親魚などの保護機能の強化

- マダイ、スズキ、アジ等を集める魚礁の設置や、カレイ類、メバル、カサゴ等の産卵親魚の保護や稚魚の育成を図る増殖場の造成などを進めます。



石材を用いた播磨灘での大規模な増殖場イメージ（左）とそこで増殖したメバル等魚類（右）

漁業現場での研修支援等を通じた漁業者の確保・育成

- 漁業現場での長期研修等の実施を支援し、次世代を担う漁業者等の育成・確保を推進します。



イカナゴの釜揚げ

近年は、エサの動物プランクトンをたくさん食べてゆでるとお腹が赤くなる「アカハラ」(左)より、エサを十分に食べられていない「アオスジ」(右)が多くなった。